

令和3年3月17日（水） 危機管理に関する校内研修報告

職員会議後、危機管理に関する校内研修を行いました。本校の組織としての対応力を高め、より安心安全な学校をつくることを目標に、今年度のヒヤリ・ハット事例の傾向を分析することで、課題を洗い出し対策を検討いたしました。

課題として、次の5点が挙げられました。

- 1 部活動中の事故
- 2 登下校中の交通事故
- 3 新型コロナウイルス感染症対策
- 4 校庭、施設の危険箇所
- 5 アナフィラキシーショック

対策の概要は次のとおりです。

年度初めの「危機管理マニュアル」の確認、年度末の「ヒヤリ・ハット事例の検討」を引き続き実施する。その上で各課題に対する対策を行う。

- 1 部活動の安全対策
今年度は、9月に「部活動の安全管理および救急対応についての研修」を実施し、校内のヒヤリハット事例の収集と共有、管理職による部活動の巡回及び顧問との面談、担任と顧問による生徒の情報共有を行うことを確認して徹底を図ってきた。生徒の安全確保を何よりも最優先し、来年度4月に、本校の部活動に係る活動方針を再確認して部活動をスタートする。
- 2 登下校中の交通事故
自転車、バイクともに乗り始めと慣れてきた頃の事故に注意が必要である。生徒に対し、運転技術の向上と安全運転、ルール厳守を促す指導を徹底する。また、小さな事故でも必ずその場で警察、学校へ連絡することを徹底させる。
- 3 新型コロナウイルス感染症対策
県のマニュアルと本校で作成・更新したマニュアルをもとに、今年度1年間教育活動を行ってきた。慣れから来る生徒の危機意識の低下を防ぐため、繰り返し感染症対策を呼びかけていく。
- 4 校庭、施設の危険箇所
施設の老朽化に伴う危険のおそれがあるため、毎月の安全点検を丁寧に実施する。
- 5 アナフィラキシーショック
アレルギーをもつ生徒の把握を確実にを行う。救急対応についての研修を実施する。
- 6 その他
今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全教職員での心肺蘇生法研修が実施できなかった。感染が収まれば来年度は実施する。

最後に、全教員で一年間を振り返り、安心安全な学校づくりに向けて再確認できました。普段から「うちは大丈夫」ではなく「安全ではない」という認識をもち、教職員間で情報を共有し、風通しの良い職場づくりをしていくことがリスクマネジメントに繋がると信じています。